

エコアクション21

環境活動レポート

利達工業株式会社

対象期間 : 2023年1月1日～2023年12月31日



発行日 2024年11月1日

改定日 2025年1月21日

目次

- ①組織概要
- ②対象範囲
- ③実施体制
- ④環境方針
- ⑤環境目標
- ⑥環境活動計画
- ⑦環境目標の達成状況
- ⑧活動計画の取組結果とその評価、次年度取組
- ⑨環境関連の放棄遵守状況の確認及び評価
及び違反・訴訟の有無
- ⑩代表者による全体評価と見直し結果
- ⑪環境目標 2023年度
- ⑫環境活動計画 2023年度

①組織概要

・事業者名	利達工業株式会社
・代表者名	代表取締役 鈴木秀和
・設立	1964年8月
・資本金	4,000万円
・所在地	〒470-0352 豊田市篠原町敷田37-18
・環境管理責任者	専務取締役 鈴木伸隆(事務局兼務)
・連絡先	TEL0565-48-2266 fax0565-48-2282
・事業内容	自動車鋼板部品製造
・事業規模	売上高 2,671百万円(2023年度) 従業員 61名 床面積 4,489m ²

②対象範囲

エコアクション21対象範囲

利達工業株式会社 全組織

対象活動

事業内容と同じ

対象期間

2023年1月～2023年12月

③実施体制

作成日: 2024/1/6
 作成者: 鈴木伸隆
 承認者: 鈴木秀和

従業員数 61名 (1月6日現在)



	担当	役割・責任・権限
代表者	鈴木秀 社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定及び全従業員への周知 環境管理責任者の任命 資源(人員・設備・費用等)の準備 代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	鈴木伸 専務	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告 外部からの苦情等の受付 環境活動レポートの作成
事務局	鈴木伸 専務	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連文書及び記録の作成・管理等 環境活動計画の実施状況の確認
各部署	職制全員	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の環境経営システムの実施 自部門の環境目標及び環境活動計画の運用管理
各部署	全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

④環境方針

当社は、自動車部品製造等の事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムの構築及び運用することにより、自主的かつ積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め水の使用量の削減に努めます。
 - ④ 環境に配慮した製品の提供に努めます。
 - ⑤ 社会貢献活動を積極的に行います。
3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 平成28年9月1日
改定日 令和5年11月21日

利達工業株式会社

代表取締役 鈴木秀和

⑤環境目標

環境目標	取組項目	2014年度実績 (基準年)	目標 (2023年度) 2023/1/1～2023/12/31	目標 (2024年度) 2024/1/1～2024/12/31	目標 (2025年度) 2025/1/1～2025/12/31	目標 (2026年度) 2026/1/1～2026/12/31
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2	589,162.56	基準年度比7%の削減	基準年度比7%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
	電力の使用量削減 KWh	1,119,492.0	基準年度比7%の削減	基準年度比7%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
	ガソリンの使用量削減 L	4,676.2	基準年度比7%の削減	基準年度比7%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
	軽油の使用量削減 L	2,635.0	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
	灯油の使用量の削減 L	5,975.0	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減 kg	2,446 2015年度実績値	基準年度比7%の削減	基準年度比7%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
	産業廃棄物の排出量削減 kg	2,112.0	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減	基準年度比8%の削減
排水量の削減	上水使用量の削減 m ³	900.0 2016年度実績値	基準年度比6%の削減	基準年度比6%の削減	基準年度比7%の削減	基準年度比7%の削減
業務の効率化推進	客先流出不具合件数低減 件	15件	客先設定目標値達成	客先設定目標値達成	客先設定目標値達成	客先設定目標値達成
社会貢献	工場周辺の清掃 回	8回	8回	8回	8回	8回

- ・電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度中部電力ミライズの調整後排出係数(0.452kg-CO2/kwh)を使用する。
- ・化学物質の使用はありません。

⑥環境活動計画

《 取組期間 2023年1月1日～2023年12月31日 》

環境項目	取組事項	担当部門
二酸化炭素の排出量削減	・冷暖房の温度管理を徹底(夏場 $27\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、冬場 $21\pm 1^{\circ}\text{C}$)	事務部門
	・不要な電力、照明等の削減(使用しない時は、電源を切る。)	全部署
	・OA機器は省電力設定にする。	事務部門
	・エコドライブの徹底	全部署
	・営業ルートの見直し及び頻度の効率化	全部署
	・石油ストーブをこまめに消す習慣の徹底	会社
廃棄物の排出量削減	・コピー用紙の裏紙使用	事務部門
	・可燃ごみの削減	全部署
	・廃棄物の分別の徹底による資源化促進	全部署
	・マニフェスト管理の徹底	保全課
排水量の削減	・手洗い時の節水の励行	全部署
	・設備からの水漏れ等の確認と保全	保全課
業務の効率化推進	・不良率低減で、生産資材の無駄排除	全部署
会社周辺の清掃	・会社周辺の清掃実施(8回/年)	交通安全立哨者

⑦環境目標の達成状況

環境方針	環境目標	単位	2014年度 基準値	2023年1月～2023年12月		
				削減目標値	実績値	達成率
二酸化炭素の排出量削減 排出係数:0.452 (中電2018年度)	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	589,162.6	547,921.2	591,160.4	93%
	電力の使用量削減	KWh	1,119,492.0	1,041,127.6	1,258,767.0	83%
	ガソリンの使用量削減	L	4,676.2	4,348.9	5,291.5	82%
	軽油の使用量削減	L	2,635.0	2,424.2	2,588.0	94%
	灯油の使用量の削減	L	5,975.0	5,497.0	1,303.0	422%
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	kg	2,446 2015年度実績値	2,274.8	1,916.0	119%
	産業廃棄物の排出量削減	kg	2,112.0	1,943.0	99.0	1963%
排水量の削減	上水使用量の削減	m ³	900.0 2016年度実績値	846.0	860.0	98%
業務の効率化推進	客先流出不具合件数低減	件数	15.0	6.0	14.0	43%
社会貢献	工場周辺の清掃	回数	8.0	8.0	8.0	100%

⑧活動計画の取組結果とその評価、次年度取組

項目	達成結果	評価	次年度の取組
二酸化炭素の排出量削減	×	目標未達残念なところではありますが、空調の管理も進んできております。作業環境との兼ね合いもありますが排出量削減の意識も持ってください。	引き続き空調利用時のデマンド管理をして効率よく節電に心掛ける。 ガソリンの使用量を減らす取り組みが重要である。
廃棄物の排出量削減	○	引き続き良好な状態を維持出来ております。	現状の活動を継続ください。
排水量の削減	×	目標未達ではあるがあと一步のところではありますので引き続き削減活動をお願いします。	現状の活動を継続ください。
業務の効率化推進	×	品質目標は達成できなかったが、不具合発生量としては減少している。	品質向上活動計画書のに基づき、品質目標の達成を目指してください。
社会貢献	○	目標を達成することが出来、良い結果でありました。	歩行帯側の整備の実施を継続してください。

⑨環境関連の法規遵守状況の確認 及び違反・訴訟の有無

評価日 2024.1.9

○：順守、×：未順守、／：現時点非該当

分類	適用法	順守状況		
		順守状況	×時詳細記入	
環境一般	環境影響評価法	/		
	環境基本法	○		
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	/		
	電気事業法	/		
温暖化	環境配慮促進法	/		
	地球温暖化対策の推進に関する法律	/		
省エネ	エネルギー使用合理化（省エネ法）	/		
	再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法	/		
大気汚染	大気汚染防止法	○		
	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	/		
	自動車NOx・PM法	○		
	貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	○		
悪臭	悪臭防止法	/		
騒音	騒音規制法	○		
振動	振動規制法	○		
水質汚濁	水質汚濁防止法	○		
	浄化槽法	/		
土壌汚染	下水道法	○		
	土壌汚染対策法	/		
地盤沈下	工業用水法	/		
リサイクル	循環型社会形成推進基本法	/		
	再生資源の利用の促進に関する法律（リサイクル法）	/		
	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律（容器リサイクル法）	/		
	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）	/		
	特定家電用機器再商品化法（家電リサイクル法）	○		
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	/		
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	/		
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	○		
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	/		
	水循環基本法	/		
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	/		
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（略称「フロン排出抑制法」）	○		
	ホリ塩化ビフェニル処理特措法	/		
	豊田市廃棄物処理及び清掃に関する法律施行細則	○		
	愛知県廃棄物処理及び清掃に関する法律施行細則	○		
	豊田市産業廃棄物適正処理指導要綱	○		
	豊田市廃棄物の焼却に係るダイオキシン類等排出抑制指導要綱	○		
	愛知県産業廃棄物適正処理指導要綱	○		
化学物質	愛知県産業廃棄物適正処理促進条例	○		
	豊田市産業廃棄物適正処理促進条例	○		
	化審法	/		
	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	/		
	ダイオキシン類対策特別法	/		
	*消防法	○		
教育	*労働安全衛生法	○		
	*毒劇物取締法	/		
	*高圧ガス保安法	○		
	環境教育推進法	/		
	電波障害	電波法	/	
工場立地	工場立地法	○		
その他	愛知県環境影響評価条例	○		
	愛知県生活環境保全条例	○		
	豊田市環境保全協定	○		
	岡崎市環境保全協定	/		
	豊田市環境を守り育てる条例	○		
	岡崎市生活環境保全条例	/		
	矢水協定	/		
	トヨタ連結環境マネジメント	/		
	グリーン調達ガイドライン	/		
	その他	労働安全衛生法	○	
労働安全衛生法		○		
労働安全衛生法		○		
*消防法		○		
*労働安全衛生法		○		
*毒劇物取締法		/		
*高圧ガス保安法		○		
環境教育推進法		/		
電波障害		電波法	/	
工場立地		工場立地法	○	
その他	愛知県環境影響評価条例	○		
	愛知県生活環境保全条例	○		
	豊田市環境保全協定	○		
	岡崎市環境保全協定	/		
	高圧ガス取締法	○		
	豊田市環境を守り育てる条例	○		
	岡崎市生活環境保全条例	/		
	矢水協定	/		
	PRTRパイロット	/		
	事業	/		
トヨタ連結環境マネジメント	/			
グリーン調達ガイドライン	○			

*環境保全が主目的ではないが、事故時、化学物質等で関係がある関係法

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑩代表者による全体評価と見直し結果

作成：2024/2/1

代表：鈴木秀和

1. 見直しに必要な情報			
	項目	評価・コメント	
1	環境目標の達成状況	夏場の工場全体空調により電力の増加があり、トータル的に二酸化炭素排出量の削減を達成出来なかったのは残念ではあるが冬場の電力を抑えられたのは良かったと思われる。	
2	環境活動計画の実施及び運用結果	不具合の発生件数は未達ではあったが、大量不具合の発生が無かったため廃棄量としては良好な結果であった。	
3	環境法令等の遵守状況	環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。	
4	外部からの環境に関する苦情や要望等	近隣からの苦情や要望は無かった。	
5	前回の指示への取組結果	冬季の暖房使用による電力の使用量が改善され、単月ではあるが目標を達成することが出来たことは非常に良かったと思われる。 排水量に関しては、目標未達ではあるがあと一步のところではありますので引き続き削減活動をお願いします。	
2. 変更の必要性			
	項目	変更の必要性	変更『有』の場合の指示事項
1	環境経営方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	—
2	環境経営目標及び環境経営計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	—
3	実施体制	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	—
4	実施状況	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	—
3. 総括：評価及び指摘事項			
<p>空調利用時のデマンドを超えない体制を継続して実施して下さい。</p> <p>また、ガソリンの使用状況が昨年と横ばい状態にありますので原因を再調査して対策下さい。</p> <p>不具合の発生状況が増加傾向にあります。廃棄品が増えることは環境への問題にもつながることの意識付けをしてください。</p>			

⑪環境目標 2024年度



取組項目	2023年度実績 (基準年)	目標 (2024年度) 2024/1/1～2024/12/31	目標 (2025年度) 2025/1/1～2025/12/31	目標 (2026年度) 2026/1/1～2026/12/31
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2	591,160.43	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
電力の使用量削減 KWh	1,258,767.0	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
ガソリンの使用量削減 L	5,291.5	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
軽油の使用量削減 L	2,588.0	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
灯油の使用量の削減 L	1,303.0	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
一般廃棄物の排出量削減 kg	1,916.00	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
産業廃棄物の排出量削減 kg	2,112.0	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
上水使用量の削減 m ³	860.00	基準年度比2%の削減	基準年度比3%の削減	基準年度比4%の削減
客先流出不具合件数低減 件	6件	客先設定目標値達成	客先設定目標値達成	客先設定目標値達成
工場周辺の清掃 回	8回	8回	8回	8回

⑫環境活動計画 2024年度

《 取組期間 2024年1月1日～2024年12月31日 》

環境項目	取組事項	担当部門
二酸化炭素の排出量削減	・冷暖房の温度管理を徹底(夏場 $27\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、冬場 $21\pm 1^{\circ}\text{C}$)	事務部門 工場内
	・不要な電力、照明等の削減(使用しない時は、電源を切る。)	全部署
	・OA機器は省電力設定にする。	事務部門
	・エコドライブの徹底	全部署
	・営業ルートの見直し及び頻度の効率化	全部署
	・全体空調の使用時間の見直し (ON:就業1時間後、OFF:終業1時間前)	会社
廃棄物の排出量削減	・コピー用紙の裏紙使用	事務部門
	・可燃ごみの削減	全部署
	・廃棄物の分別の徹底による資源化促進	全部署
	・マニフェスト管理の徹底	保全課
排水量の削減	・手洗い時の節水の励行	全部署
	・設備からの水漏れ等の確認と保全	保全課
業務の効率化推進	・不良率低減で、生産資材の無駄排除	全部署
会社周辺の清掃	・会社周辺の清掃実施(8回/年)	交通安全立哨者